

## リメンバー福岡:「自殺の現状理解して」 来月7日、記念講演 /福岡

NPO法人「リメンバー福岡・自死遺族の集い」が発足から5周年を迎え、記念講演会を開く。2月7日午後1時、あいれふホール(中央区)で、「語れる自殺 語れない自殺 最愛の人、大切な人が自殺したとき、あなたはどうしますか」をテーマに、講演やパネルディスカッションなどがある。会は「自殺を身近に感じていない人にも参加してもらい、多くの人に現状を理解してもらえれば」と話している。

会は、遺族が普段は話せない思いを語り合う場を提供している。井上久美子代表は「遺族が自殺を語るができない社会になっている。語ることは自分を取り戻すための大切な作業で、その環境を作ることが大切。一方で『自殺は社会の問題』との言葉が一人歩きし、残された遺族を追い詰める現状もある。自殺を減らす努力は大切だが、唯一の目標となつてはいけない」と指摘する。

基調講演は「福祉と自殺問題」をテーマに、NHK「福祉ネットワーク」のキャスター、町永俊雄・アナウンサー。遺族や専門家によるパネルディスカッションや、医師で音楽療法士の下村泰斗さんのピアノ演奏もある。

会場では、遺族の手記や分かち合いのプロセスを記録したDVDなどを紹介する「メッセージ展」も開催。入場無料だが先着順(250人)で事前予約(22日消印有効)が必要。申し込みは、ファクス(092・737・8827)か、郵送で中央区舞鶴2の5の1の市精神保健福祉センター(092・737・8826)へ。【鈴木美穂】

〔福岡都市圏版〕

毎日新聞 2010年1月18日 地方版